

宮城労働局内労働災害事例

(宮城労働局労働基準部健康安全課)

道路上で測量作業中、ダンプトラックに轢かれて死亡

発生年月	平成28年3月 午後0時頃		
業種	道路建設工事業	事業場規模	調査中
事故の型	交通事故(道路)	起因物	動力運搬機械

発生状況	<p>道路改良工事現場で、一人で測量作業をしていた被災者が、右折してきたダンプトラック(当該現場とは無関係)に轢かれて死亡した。道路中央でしゃがんだ状態でマーキング作業をしていたものと推測される。</p> <p>詳細は調査中。</p>	
災害防止対策	<p>[現在調査中のため、災害特有の一般的対策を列挙したものです]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 測量作業を行うにあたっては、事前に作業場所の状況に応じた作業計画を定め、これに基づき行わせること。 2 測量作業は単独では実施せず、できる限り複数で実施すること。 3 誘導員を配置し、通行車両に注意を促すこと。 4 測量中であることを看板等により明示すること。 5 安全チョッキの着用等、目立つ服装をすること。 	
留意事項	<p>[過去の事例から災害防止のポイントを掲げています]</p> <p>交通量の少ない道路であったとしても、必ず車両が通行すると考え危険予知することが必要です。特にカーブがある、交差点がある等見通しが悪い場所で測量を行う場合、車両運転者がいち早く測量者がいることに気づけるよう、誘導員を配置する、表示板を設置するなどの安全対策が必要です。</p>	